

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
らふてるキッズ		2025年 1月 22日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	定員オーバーはしていない。個別指導のため、スペースは広く使っている。	なるべく広く使えるように、指導室内の物を増やさないようにする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	通常必要な人員よりも2-3名多く配置している。	特になし。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	バリアフリーは可能な限り行なっている。お子さんの日常適応訓練を目的としているため、あえて構造化はせず教えている。	特になし。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日清掃を行い、設備、おもちゃ・教材の消毒も毎日行っている。	特になし。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	ブースとして分けし、さらに段ボールで囲えるようにし個別の空間が確保できるようにしている。	特になし。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	お子さんの指導については、職員間で情報共有と相談を日々行い、月に数回適宜行なっている。	特になし。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	当アンケートを取り、業務改善に繋げている。	評価表を参考に対応を行う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎朝の朝礼やアイドルタイムをつかって職員同士で情報共有を行い、業務改善を行なっている。	職員によって業務への理解度が異なるため、これからも情報共有をしっかりと行なっていきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		社会福祉協議会に、第三者による外部評価について問い合わせたが、まだ実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	強度行動障害支援者研修受講者2名、児童発達管理責任者研修受講者2名、(民間)ABA療育研修受講者1名を、会社負担で実施した。その他、研修計画を作成し、社内研修を行なっている。	今後も継続。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	独自の支援プログラムを持っているが、公表はしていない。	今年度中に公表予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	アセスメントを行い、児童発達支援計画を作成している。	一部の連絡が取りづらい保護者に連絡をとれるように工夫が必要。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	職員と児童発達支援管理責任者で検討を行なっている。	特になし。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	発達支援計画および、支援の詳細については、情報共有アプリで共有しいつでも確認できるようにしている。	特になし。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	定型のアセスメントツールを使用するとともに、利用時には詳細にお子さんの状態を記録している。	特になし。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ガイドライン項目を網羅し、支援内容を設定している。	特になし。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	担当職員と児童発達支援管理責任者を中心に全員で情報共有を行いつつ立案している。	特になし。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	常に工夫している。	特になし。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別活動がメインだが、小集団活動も適宜導 入し支援を行なっている。	特になし。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っ ているか。	8	0	毎朝、朝礼で打ち合わせを行なっている。	特になし。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支 援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	職員全員で口頭で共有できない場合は、 アプリを使用して共有している。	支援終了後は清掃・消毒などで時間が取られ て難しいが、情報共有アプリを使用すること でカバーしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善 につなげているか。	8	0	支援記録は情報共有アプリにリアルタイムで 記録を行っている。保護者にも見える形をと り、記録の透明性を高くしている。	特になし。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要 性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	6ヶ月以内にモニタリングを行い、計画の見 直しを行なっている。	特になし。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	サービス担当者会議には、出来る限り、児童 発達管理責任者か、担当職員が参加するよう にしている。	特になし。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	8	0	小学校、学童保育と連絡を取りあい情報共有 を行なっている。	特になし。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進 の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こ ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等 の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	保育園、幼稚園、小学校、学童保育と連絡を 取りあい情報共有を行なっている。	特になし。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間 で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	小学校指定の就学支援ファイルを作成し情報 共有を行なっている。	特になし。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連 携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受 けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積 極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスー パーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1	当事業所とところんを併用しているお子さん のサービス担当者会議等で、情報交換を行 なっている。	今後も継続。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこ どもと活動する機会があるか。	0	8		個別指導がメインのため、地域のお子さん との交流機会を得ることが難しい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況 や課題について共通理解を持っているか。	8	0	情報共有アプリを用いて、保護者に支援の様 子がわかるようにしている。さらに、保護者 からの質問にすぐに答えられる体制をとっ ている。	特になし。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プロ グラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修 の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	ペアレントトレーニングを、ほぼ全ての保護 者に受講していただいている。親の会も開催 し情報共有しやすい状況を作っている。	特になし。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	8	0	契約時に時間をかけて丁寧に説明を行って いる。	特になし。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊 重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	保護者の意向をしっかりと伺うようにして いる。	特になし。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	「児童発達支援計画（個別支援計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	特になし。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	多い人は週1回以上、少なくとも月に1回は子育ての悩み相談を行なっている。	特になし。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	概ね1月に1回程度、親の会を開催している。	参加者が限られているので、多くの方に参加していただけるように情報発信が必要。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	LINE,電話、情報共有アプリを用いて、保護者からの相談を受け付けている。相談から概ね一週間以内には対応を行なっている。	特になし。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	インスタグラムで活動を公表している。活動については情報共有アプリで保護者が個別に確認ができるようにしている。	より周知できるように工夫していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	職員採用時に個人情報の取り扱いについての誓約書を交わしている。さらに毎年個人情報保護の研修を行なっている。	特になし。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	児童については、個別支援計画でコミュニケーションスキルの向上を目指して課題設定を行なっている。保護者には情報共有アプリでの支援の状況の共有を行うとともに、適宜要望を伺うようにしている。	特になし。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	高校生等学生の職場見学等受け入れている。	他の事業所はどのようにしているか知りたい。当事業所は個別支援と保護者支援がメインのため、地域住民との交流まで手が回らない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	特になし。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	特になし。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	利用開始時にアンケートを取り確認を行なっている。	特になし。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	0	食物アレルギーのあるお子さんがいない。食べ物は保護者が持参されたもののみ使用している。	特になし。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を行なっている。	特になし。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	利用開始時にアンケートを取り確認を行なっている。	特になし。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットを共有し、再発防止に取り組んでいる。	特になし。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修を行なっている。	特になし。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	身体拘束は行なっていない。	特になし。